



第42号

平成28年8月15日

# むらかみ

## 市議会だより



### 市民の宝 輝く瞳

村上大祭

(村上地区 肴町)

肴町のおしゃぎりは、宝暦十年(1760年)に製作され、おしゃぎりの中では最も古く、乗せ物は鯛に乗った「恵比寿様」です。親から子へ、子から孫へと伝統は引き継がれ、今年の村上大祭でもキラキラと光り輝く瞳を多く目にする事ができました。

- [特集] 18歳選挙 はじめての一票…… 2～3ページ
- 一般質問…… 4～12ページ
- 委員会の審査報告…… 13～15ページ
- 第2回定例会議決結果…… 16～17ページ
- 議会の取り組み…… 18ページ
- 政務活動費の交付実績…… 19ページ
- インタビュー…… 20ページ



# 特集

## 高校3年生に聞きました

# 18歳選挙 はじめての一票

公職選挙法の一部が改正され、今年7月の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。村上市では18歳と19歳の約1200人が新たに有権者となり、一票を投じました。村上市議会では、初めての選挙を経験した新潟県立村上高等学校の3年生の皆さんにその感想などのお話を伺いました。

### ■初めて投票を行った感想は

- ・少し緊張しました。テストを受けるくらい緊張しました。幼いころ、親の投票に付いて行ったことを思い出しました。
- ・期日前投票を行いました。とても緊張しました。比例代表の方は、選挙の事前授業で体験しなかったので少し困惑しました。
- ・学校で模擬選挙があったので、慌てることなく投票を行うことができました。
- ・自分の1票が国や地方の今後を決めていくのだなど、あらためて思いました。
- ・自分一人で投票できるか不安でしたが、係員の方が説明してくれたので意外と簡単に投票できました。

### ■若者の意見 反映を

#### ■どのような思いを託して投票をしましたか

- ・今よりもっと国が良くなるようにこの思いを託して投票しました。
- ・私たち若者の意見が少しでも反映されたいと思います。
- ・国の未来をしっかり見据え、自分たち、子や孫の世代が安心した暮らしができるような政治をしてほしいと思いました。
- ・将来の就職活動のために、経済政策に力を入れてもらえることを願って投票しました。
- ・小さな1票かもしれませんが、しっかりその候補者に届き公約を実現してほしいという思いで投票しました。

#### ■投票所の雰囲気はどうでしたか

- ・地元の小学校の体育館だったので、知っている人も多く、とても入りやすかったです。
- ・知り合いの人が係をされていて、私が投票することに驚いていました。
- ・幼い時から親しんできた地元の公民館だったので、あまり緊張した雰囲気はありませんでした。
- ・学校の制服で期日前投票所に行くこと、中にいた方が「高校生だわ。」と少し驚いていました。緊張感がありました。
- ・とても静かな感じでした。



### ■18歳からの選挙権をどう思いますか

- ・よいと思います。より若い世代の意見が反映できるのじ。
- ・政治への関心を持つきっかけになるので、よいと思います。
- ・若年層の投票率が高齢者よりも低いので、若い世代の意見をより多く取り入れるためによいと思います。



### ■選挙権で政治が身近に

#### ■選挙権を得たことで、政治への関心やイメージに変化がありましたか

- ・以前から「政治」について興味・関心があり、今回選挙権を得てより身近に感じ、もっと知りたいと思いました。
- ・今まで政治への関心はありませんでしたが、選挙権を得たことで少し政治への関心を持つようになりました。

これまでは政治は大人がやっていることで、なかなか触れることはなかったのですが、政治が身近に感じられるようになりました。

選挙権を得たことで政治に関心を持ち、各政党が何をやっていきたいのか、テレビや新聞をよく見たり聞いたりするようになりました。

自分も社会の一員としての資格が与えられたように感じて、以前よりもずっと、ニュース番組の政治や選挙についての話に興味を持って見っていました。

#### ■次回の選挙も投票に行きますか

- ・行きます。
- ・もちろん行きます。次は10月に県知事選挙がありますし、今後はすべての選挙に行きます。

#### 〈先生からひと言〉

選挙の事前授業や模擬投票により、多くの生徒が選挙への関心を持つことにつながりました。高校生のこの時期にこのような形で選挙への意識が持てたことは、今後、10年20年単位でその成果が表れるのではないかと思いますので、責任を持って主権者教育に取り組んでいかなければならないと感じています。

#### ■インタビューを終えて

いろいろなお話を伺うことができました。

高校生にとって、18歳選挙権は政治に関心を持つきっかけになったようです。自分の住む地域や社会を良くするため、そしてまた自分たちの将来のために、一人一人がよく考え、自分なりに判断し、今後も選挙に参加してほしいと思います。

ご協力ありがとうございました。

#### 【取材協力】

新潟県立村上高等学校

平澤周太郎教諭

高野康太さん

佐藤銀河さん

佐藤朋香さん

遠山菜々子さん

山賀恵実子さん

(順不同)

# 市政を問う!!

16人が  
一般質問

6月10日・13日・14日・15日の4日間の日程で行われた一般質問に16人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を掲載します。(質問順)

※全質問事項は以下のとおりです。

なお、紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。(一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。)

**1 小杉武仁**議員 5

1. 病児・病後児保育の実施計画について
2. 地域力のブランディング展開について

**7 稲葉久美子**議員 8

1. 子育て世代の労働状況と収入について
2. 子育て支援について
3. 就学援助について

**13 山田 勉**議員 11

1. スクールバス運行について
2. 通学路への防犯灯の設置について
3. 地域における災害対応について

**2 河村幸雄**議員 5

1. 村上まつりの国の重要無形民俗文化財指定に向けた活動等伝統文化の振興について
2. 地方創生の取り組みについて

**8 鈴木いせ子**議員 8

1. 厚生連との移転新築に関する覚書について
2. ふるさと納税について

**14 川村敏晴**議員 11

1. 市教育行政について
2. 地域防災の要である常備消防と消防団との連携について
3. 観光振興について

**3 木村貞雄**議員 6

1. 望ましい教育環境整備について
2. 幼児教育と学校教育の連携について
3. 買い物弱者対策について
4. 三面川の水質対策について

**9 本間清人**議員 9

1. 村上市奨学金制度について
2. 副市長という役職について
3. 都市計画道路環状3号線について

**15 本間善和**議員 12

1. 農作物被害防止の対策について
2. 海岸線沿線集落および国道345号の越波対策について
3. 新村上総合病院の今後の建設スケジュールと病院施設、医療内容等の整備計画について
4. 集落機能維持の継続対策について

**4 板垣千代子**議員 6

1. B型肝炎ワクチンの10月から定期接種化について
2. 感染性胃腸炎への対応について
3. 空き家対策について

**10 渡辺 昌**議員 9

1. 空き家対策のさらなる取り組みについて
2. 学校図書館と読書活動について

**16 平山 耕**議員 12

1. 建設業全体における問題点や課題について
2. 遠藤新教育長が目標とする村上地域の教育について

**5 大滝久志**議員 7

1. 中山間地対策について

**11 長谷川孝**議員 10

1. 村上市の地域を守る具体的な取り組みについて
2. 若者漁業就業者の現状について

**一般質問とは？**

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めるものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

**6 竹内喜代嗣**議員 7

1. 区長会等の選挙運動について
2. 小・中学校の統廃合について
3. 市民の格差拡大の実態と貧困対策について
4. 水害対策について

**12 姫路 敏**議員 10

1. 観光振興の今後の展開について



# 未来につながる支援を



小杉 武仁 議員

**問** 働いている親にとって、子どもが病気のとき

の子育ては最大の難関とも言えるが、病児・病後児保育事業を充実させ、子育てを諦めなくてもよい社会を、民間と行政が共に取り組んでいくことが必要でないか。

**答** 幹線道路など市民の生活動線を把握し、市内全域で病児保育のサービ

スが受けられるよう取り組む。  
**問** 32年度の村上総合病院移転新築に伴い、開院時と同時期に病児・病後児保育施設も開設するの

か。  
**答** 同時にスタートさせたい。

**問** 補助金を交付し、実質無料の自治体もあるが、

村上市でも利用料金は無料にできないものか。

**答** 今のところ確定していないが、1日2千円で考えている。

**問** 32年度までの4年間、既存の施設などを利用して仮設の病児・病後児保育施設を開設できないか。

**答** 十分に可能だと考える。働く親と子どもたちの立場を考えて研究を進めていきたい。

**問** 6次産業化で、地元農水産物のブランド化を進めているが、このような取り組みが拡大できないか。

**答** 産業支援プログラムにより新商品開発・販路拡大・人材育成にさらなる支援をしていく。

**問** 生産者等に、農水産物加工や商業デザインの専門家などによる相談活動の支援ができないか。

**答** 専門家の指導を受け、積極的に取り組んでいきたい。



開業医の病児保育室の様子



村上まつりの屋台 上片町(左) 羽黒町(右)

**問** 村上まつりの国の重要無形民俗文化財指定に向けて、常設トイレや休憩所の確保について、観光地としてお客さまの満足度向上のためにも、早期に適切な場所に開設してほしいと考える。市長の考えを伺う。

**答** 常設トイレおよび休憩所が不足していることご指摘も多く、第2次村上市総合計画の中で計画的に整備していきたいと考えている。

**問** 観光「屋台巡行」案内図の充実が必要ではないか。

**答** 村上まつりは本市観光の大きな財産であり、屋台の巡行に関する案内図の充実および見どころマップな

ど、観光協会や村上まつり保存会等と協議していきたいと考える。

**問** 国の文化財指定を受けた場合、どのくらいの観光客数が増加し、それに伴う交通規制対策や駐車場整備等について、どのように考えるか。

**答** 観光客数の増加に大いに期待する。指定されることで観光地としてのイメージアップにつながることは間違いなくチャンスであり、交通規制や駐車場対策についても検討していきたい。

**問** 伝統文化の継承・保存について、修復技術者の育成等人材育成の考えはあるか。

**答** 伝統技術の保存・継承に対する取り組みを支援する。文化庁の補助事業等も活用しながら、市内各地域の伝統文化の継承・保存に対する支援を行っていきたい。

## 誇りある村上まつり国指定



河村 幸雄 議員

# アユが育つ三面川に



アユが遡上する三面川



木村 貞雄 議員

**問** 三面ダムのため水の影響かと思いがマンガンが蓄積し、そのために現在は、アユの餌となるコケの生育に影響を与えていると言われている。国の方へ要望を行っているようですが、この問題に対し、市長はどのように捉えているのか。

**答** 近年、上流部ではアユの生息数が下流部と比べ減少している状況である。三面川鮭産漁業協同組合では、24年に県に対し、三面川上流部河川の付着物調査と整備を要望し、その結果、付着物にはマンガンの成分が多かったとされている。河川水中

のマンガンの濃度は、環境基準値を超過してはいないということである。しかしながら、上流域でアユの生息数が少なく、その対策として、県では川の石を天地返しして、河床を整正を行い、アユの生育環境の改善を図っている。

**問** 地元漁協がアユの放流事業に努力しているが、アユが育たない。やがて農業用水、生活用水まで影響を与えないよう望むが、担当課の現状認識を伺いたい。

**答** 岩船米改良協会から水質検査をやってもらっているが、農業用水、生活用水もクリアしている。

**問** 県とはどのような連携が取れるのか。

**答** 県でグリーンインフラ整備の補助事業を活用し現地調査をしているが、継続した取り組みを要望し、一日も早く生息域を回復させたい。

## B型肝炎ワクチン接種は



板垣千代子 議員

**問** 厚生労働省の専門部会は0歳児を対象に、B型肝炎ワクチンを10月から定期接種化することを了承した。「定期接種は生後2、3、7、8カ月の3回実施する。母子感染予防のため出生直後に接種した場合、健康保険が適用されるため、定期接種の対象から除外する。一方、病気などで0歳の間に接種できなかった場合は、特例として年齢に上限を定めず、いつでも接種できるようにする」とのことだが、現在わかっている範囲で説明してほしい。

**答** 国は、肝硬変や肝臓がんに進行する恐れのあるB型肝炎対策として90%以上の予防効果がある



子育てに必要な情報をまとめた「子育て応援ファイル」

るワクチンが極めて有効であり、本年10月から0歳児を対象に、B型肝炎ワクチンを定期予防接種として実施することになった。本市では、4月から9月までの出生児に対しては個人通知、10月以降出生児に対しては、子育て応援ファイルで周知を図りたい。

**問** 5月に入り、小・中学校、保育園等で感染性胃腸炎が流行しているように聞いているが、現在はどういうになっているのか。

**答** 現在、感染は終息しているが、児童の健康管理に注意を払うとともに、引き続き消毒等を徹底している。

# 中山間地域対策の推進を



大滝 久志 議員

**問** 村上市は、合併して9年目に入った。中山間地域が多い山北、朝日地域は、特に人口減少と高齢化が急速に進み、先行きが見えない状況にある。市長として、現状をどう捉えているか伺う。

**答** 山北地域は、人口がピーク時より61%、朝日地域は50%減少している。高齢化率は、山北地域で46%、朝日地域で37%である。

このため、「地域産業の支援策、子育てしやすい環境づくり、地域を支える体制づくり」など多方面の取り組みが必要である。

**問** 若者が中山間地域に定着して生活できる仕事の場の確保が必要と思う

がどうか。

**答** 企業誘致は、中山間地域等に限らず、本市全域の取り組みである。若者が定着するには、地域の魅力づくりも大切である。

**問** 中山間地域には、今まで先人が営んできた農林業がある。この再生が何より大切と思うがどうか。

**答** 中山間地域における農林業は、就業人口の減少や高齢化に伴う耕作放棄地の増加が進んでいる状況にある。国県の制度を活用し、農地の集積化や担い手確保・育成を図る。また、林業活性化は、木質バイオマスやCLT（直交集成板。木の繊維が直交するように板材を重ねて接着した大判パネル）の普及等で新たな木材需要に対応し、林業就業者を確保し、林業の維持向上を図っていく。



棚田の風景(山北地区)



統合の対象となっている神納小学校

**問** 小中学校の統廃合は、時期尚早であり、性急にすまないことを求める。

27年〜31年に児童・生徒数が少子化に伴って減少することから、「複式学級は解消すべき」との方針は、子どもと教師との絆を希薄にし、複式学級が持つ異年齢で学び、教え、助け合いの人間教育の良さを見ないものではないか。

**答** 複式学級が設置されている学校については、児童の個に応じたきめ細かい指導を行っていることは承知しているところだが、二つの学年

が同一学級となっていることから、あらゆる面で行動を共にすることとなり、発達段階に応じた人間関係育成能力等が育ちにくくなると思われる。

また、小学校については、一部の学年で学級が増えるところは1校で山北・朝日地区においては1学年20人程度の規模になる見込みである。

中学校についても1学年2クラスの見込みである。心配されている児童・生徒への気配りについては、十分果たせるものと考えている。

**問** 統廃合は、過疎化をさらに加速させ、集落に活力を失わせることになるのではないか。

**答** 学校としての機能が無くなったとしても、防災拠点であり、今後のまちづくり拠点にも利用ができることから、新たな可能性を持っていると考える。

## 複式でもないのに統合か



竹内喜代嗣 議員



# 親子が安心してできる支援を

**問** 子育て世代の労働状況と収入の一例として、市職員の雇用形態と正規・非正規の割合は。

**答** 市職員的一般職の常勤職員（正規）が779人、臨時職員（非正規）が585人で、6対4の割合である。また、保育園に限ると、常勤職員93人、臨時職員273人、さらに学校教育課職員では、市の常勤職員34人、臨時職員157人である。

**問** 市の臨時職員の賃金を、当面1時間千円に、近い将来1500円に上げてはどうか。

**答** 今年度、全職種で平均2%引き



市内中学校の合同練習(荒川中学校グラウンド)



稲葉久美子 議員

上げ、保育士は5・56%引き上げた。事務補助等では時給千円より低いが、保育士の有資格者、教育相談員、非常勤講師等は時給千円を上回っている。

**問** 保育園の待機児童は。

**答** 待機児童は制度上0人であるが、3歳未満児の入園希望に沿えるよう、29年1月に3歳未満児20人を受け入れることができるよう山辺里保育園を増設策とする。

**問** 就学援助の対象に、クラブ活動費を加えてもいいのではないか。

**答** クラブ活動費の種類が多く、把握も難しい。公平性から見て援助は検討していない。

**問** 入学準備金を必要な時期に支払ってはどうか。貸付制度があつていいのではないか。

**答** 貸付制度など検討してみる。

## 厚生連との覚書の内容は

**問** 診療科目は、どのような科目が増えるのか。

**答** 厚生連作成の「村上総合病院新病院整備基本構想」に則り、現在の18診療科に対して神経内科・呼吸器外科・緩和ケア科・心療内科・救急科・総合診療科の6診療科の増設が検討されている。病床数や診療科目は、今後調整を踏まえ決定されると思われる。

**問** 救急医療の機能充実・強化は、どのように図られるのか。

**答** 救急ワークステーションの設置をお願いしている。救急救命士等が行う病院実習や研修などの教育体制の確立と継続を図ると共に救命率のさ



鈴木いせ子 議員



村上総合病院の救急車出入口

らなる向上を目指していく。また、一次救急は医師会等と、二次救急は山北徳洲会病院や県立坂町病院等と連携を図り、三次救急では新潟大学、県立新発田病院との連携強化を図ると伺っている。

**問** 子育て支援のための事業や保育環境の整備はどうなるのか。

**答** 病児保育施設を検討し、保育環境の整備では院内保育の取り組みを検討していると聞いています。

**問** 具体的な財政支援の内容は。

**答** 移転新築における用地関係費、病院建設費およびインフラ整備を含め、総額20億円を限度としている。3月議会において財政支援20億円の基金を創設させていただいた。現在、新病院整備基本構想を確定させるための調整を行っている。今後交付方法等も含め協議していく。



# 村上市奨学金制度の今後は



本問 清人 議員

**問** 村上市奨学金制度を現制度のまま継続するの  
か。

**答** 市奨学金制度は、21年度から学業優秀でありながら経済的理由により就学困難な方を対象として設立し、現在、貸与を受けている方も合わせると、これまでに452人の学生の皆さんに活用いただいている。他の自治体の中には人口減少対策とも合わせて、地元でUターンして定住した場合に、奨学金の返済を支援しているところもあり、国でも給付型奨学金制度の検討に入るといふ報道もあった。そのようなことも考え合わせただうえで、本市の現状に即した事業等も含め、制度の検討を

行いたいと考えている。

**問** 現時点での貸与総額と年間返済額はどのくらいか。

**答** 現在の貸与総額は、7億9625万円であり、年間返済額は昨年度が7353万2454円となっている。

**問** 今後、副市長2人制を考えているか。

**答** その部分については強く必要性があると感じているので、これからその辺のフレームを設計した上で、改めて提案をさせていただきたい。

**問** 瀬波温泉トンネル先線の1・2kmを市単独事業でやる気はないか。

**答** 市の都合で優先順位が変わっているところもあるもので、手法の一つとして、その可能性はあると思う。庁内で検討したい。



先が進まない瀬波温泉トンネル先線



管理不全の空き家は景観上の問題も(朝日地区)

**問** 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行を受け、市の今後の取り組みの計画は。

**答** 専門的知見を活用して対策を講ずることが有効であると考える。所有者・管理者にとっても有益となるよう配慮し、具体的な利活用の方策を立案するため、「空家等対策計画」の作成に取り組みたい。

**問** 空き家対策において、家屋解体費用を助成することは大きな効果があるのではないか。特別措置法では自治体の空き家対策に要する費用へ地方交付税制度を拡充する財政上の

措置が明記されているが、解体費用への助成についての考えは。

**答** 所有者による財産管理が根本だが、解体費用の助成が最適な方策だと判断される場合には検討したい。

**問** 学校教育において、読書についての位置付けは。

**答** 子どもたちが自ら考え、判断し、さまざまな問題を解決し、未来を切り開いていく活力の源として読書を位置付けている。本年3月には「村上市子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進と読書環境の整備を進めている。

**問** 学校の図書館では相当古い本が大変多く見受けられる。また、学校や地域間の格差もあるように感じる。教育委員会は、もっと各学校の現状の把握に努めるべきではないか。

**答** 教育委員会の学校訪問の際、図書館の状況をよく見てきたい。

# 空き家解体へ費用助成を



渡辺 昌 議員

# 漁業者担い手確保策は

**問** ここ数年、若者漁業就業者が増えているか。

**答** 25年度からで、独立して就業した人数は、岩船港支所管内で3人、山北支所管内で1人あり、今後も岩船地区で2人、山北地区で1人の就業予定者がいる。

**問** 意欲ある若者が参入し、継続的に携わるための支援策はあるのか。

**答** 新規就業者が漁業現場での研修に対する支援や、無線免許、船舶免許取得経費の補助を受けるなど、負担軽減を図りながら漁業に就業して



ヒラメのブランド化試食会であいさつする  
若手漁業者の皆さん



長谷川孝 議員

いただくための支援を行っている。  
**問** 独立する新規就業者の自立支援、漁船導入支援はどのようになっていくのか。

**答** 本年度より、漁具や漁船等資本装備のための「漁業近代化資金」については、融資機関に対し利子補給金を交付することで、漁業者への負担軽減、経営の安定化を図る取り組みを行っている。また、本市では、漁業所得の向上、漁村地域の活性化を図るため「浜の活力再生プラン」の策定を行っているが、県内各地の浜プランをまとめた新たな広域浜プランに参画することにより、国の事業である「漁船リース事業」で、漁船取得や改修に対する支援を受けることができるため、現在他地域との連携を進めている。これからも、県の制度の活用を行いながら漁業者への負担軽減を図ることで、本市の漁業者担い手確保に努めていく。

## おしゃぎり様めぐり



姫路 敏 議員

**問** 市長はお祭りも観光資源の一つとして考えているようだが、私もその考え方には同感である。お祭りを観光として活かしていく方法の一つとして、例えば岩船大祭が10月18、19日に開催されるわけだが、10月に入ってからすぐに屋台を組み立てていただく、村上市の資金で各町内に展示小屋を設け、そこに屋台を展示し、建造年月日などを記して、スタンプラリーをしてみるのもいいのではないか。宿泊を瀬波温泉として2週間程度ですが、県内外からの観光客を引き込み、その間、岩船の街が多くの人で賑わうことになる。人が大勢来ることによってその期間



今年の村上大祭PRポスター

経済も回り、大変良いことだと思う。これは村上大祭でも同じことが言えると思う。人呼んで「村上のおしゃぎり様めぐり・岩船のお屋台様めぐり」。新たな観光資源として貢献してくれと思いますでしょうか。

**答** 昨年、村上地域まちづくり協議会で屋台収納庫を巡るツアーを開催したところ、大変好評だったと聞いています。お祭り本番に向け前段で機運を盛り上げて観光客を引き込み、賑やかにしていくことは可能性はあるが、ただ祭礼であることや、屋台は町内にとって大切な宝物であるので、その辺のことを十分に協議してからの話になると思う。



# 通学路へ防犯灯の設置を



山田 勉議員

**問** 少子化により児童が減少し、下校のときなど保護者が心配で迎えに行く状況が見られる。不審者情報もあり、通学距離が基準以下でもスクールバスを利用できないか。

**答** 文部科学省の基準を基に運行している。冬期間については、小学生2km、中学生は3kmを目安に運行している。交通安全、防犯についても最大の配慮で指導していく。

**問** 貝附集落と花立集落の小・中学生の通学路には、一部区間に防犯灯がない。子どもたちを守るため、防犯灯を設置する計画があるか。

**答** 現地調査を行い、必要な箇所には順次防犯灯

を設置したい。なお、ご指摘の通学路は、本年度中に防犯灯を設置する予定である。

**問** 羽越水害によって、花立集落が集団移転した。災害はいつ起きるか分からない。貝附集落の中には谷間に遊園地があるが、災害時の迅速な移動により住民の生命・財産を守るため、この遊園地に土盛り等をして避難路を確保する計画はあるか。

**答** 状況により、避難勧告や避難指示を出すことになるので、現在の道路状況でも十分に避難は可能と考えている。避難路として整備する予定はない。



防犯灯がない通学路(荒川地区)



荒川方面隊春季消防演習の様子

**問** 法改正後初の市長任命による教育長とならるの思いと、特に重点的に取り組みたいことは何か。

**答** 教育委員長と教育長が一本化され責任の重さを痛感している。

「第2次村上市教育基本計画」の策定と「村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針」に沿った具体的な学校教育環境整備の推進である。

**問** 地域の防災活動をさらに安定させるものとして、女性による広報指導分団設置の現状と今後の活動方針は。

**答** 5月末で数人から問い合わせが

## 教育長の思いとは



川村敏晴議員

あるのみ。今後も募集を続け、10月には立ち上げし、団員には普通救命講習を受講していただき、市民への応急手当普及活動や火災予防運動における防火広報等を中心に活動をお願いしたい。

**問** 観光振興策として、販売促進キャンペーン等で村上市の食材や観光の魅力をPRする計画だが、現状は。

**答** 昨年の食材プレゼンテーションに続き、都内の料理業関係者への情報発信、また、大宮駅での物産展や新たな取り組みとして駅弁販売をJR駅構内で販売する計画である。

**問** 情報誌・宿泊予約サイトとの連携プロモーションの実施状況は。

**答** このプロモーション事業は、個人客をターゲットとしており、食・イベント・景色等観光資源を絞り込むなど契約準備に取り組んでいる。

# 電気柵設置の要件緩和を

**問** 海岸線集落におけるサル等による農作物被害の状況をどのように認識しているのか。

**答** 海岸沿いの畑地では、農業者の高齢化と重なり、サルに収穫物が荒らされていることが生産意欲を減退させていると認識している。

**問** 現状の対策はどうか。

**答** 電気柵の設置、個体の捕獲、テシメトリー調査の3つを組み合わせて実施している。

**問** 電気柵設置の要件緩和とサル防護ネット等の購入費補助を検討すべきではないか。

**答** 補助要件の緩和も含め、対策の



サルの被害防止ネットの現状(上海府地区)



本問 善和 議員

充実を図りたい。

**問** 越波対策の今後の取り組みを伺う。

**答** 新規交付金事業の採択や事業予算の確保のため、国・県への要望活動をさらに強く行う。

**問** 新村上総合病院に、この地域に希薄な心療内科設置を考えているか。

**答** 新たな24診療科目の中には、市民が必要としている心療内科も含まれている。

**問** 職員が率先して地域を盛り上げる役割ができないか。

**答** 職員の地域活動への関わりは必要ではあるが、主体的に活動していただくのは地域の皆さんであり、行政と地域の皆さんとお互いが協働することによって、新しい地域、住みよい地域が作り上げられていくことが大切である。

## 市内建設業における問題は



平山 耕 議員

**問** 建設業は本市において重要な産業であり、市民にとって大事な雇用の受け皿となっている。特に専門工事業に携わる業者は単価の引き下げや工事量の減少で、事業そのものの存続が危うい状況にもなっている。行政、元請け・下請け企業、建設労働者で構成する社会保険未加入対策推進協議会29年度の目標値は、許可業者で100%、労働者単位で約9割の加入率を目指している。市発注工事で、法定福利費を設計金額の積算に適切な額で反映しているのか。

**答** 市発注の建設工事では、基本的に国・県の積算公示に基づいて積算されるので、現場管理費、



市道桃川牧目線改良工事(牧目地内)

一般管理費の諸経費の中で適切な率で算定されているものと考えている。

**問** 市では20年にプロポーザル方式や総合評価方式による発注のガイドラインが示されたが、今まで何件その方式による入札があり、何千万円以上の工事だったか。

**答** これまでの実績は2件で、1千万円以上の工事を対象としている。

**問** 建設業者共通の悩みとして、一年を通じて仕事が平均してないということがある。市発注の公共工事は、早期発注できないか。

**答** 本年度は、関係各課が発注可能な工事について調整を行い、早期発注を行ってきた。今後も建設工事の発注と施工時期の平準化を図るため、年度当初の早期発注に努める。



# 委員会の審査報告

◎は委員長  
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

## 総務文教常任 委員会所管分

◎鈴木 いせ子 ○鈴木 好彦  
 小杉 武仁 木村 貞雄  
 稲葉久美子 大滝 国吉  
 三田 敏秋 佐藤 重陽  
 河村 幸雄

◆村上市体育施設条例の一部を改正する条例制定について

**問** 条例から朝日テニスコートが削除されますが、跡地はどのようにになりますか。

**答** コートは残していきたいと考えますが、周囲の構造物は安全確保のため処分します。

◆災害対応特殊消防ポンプ自動車（CDーI）購入契約の締結について

**問** これまでの消防ポンプ自動車や車載装備と比べて変わった装備はあるのですか。

**答** 保有はしていませんが、消防団と協議していきたいと考えています。

◆消防団員活動服等購入契約の締結について

**問** 今回の契約には靴は入っていないようですが、編み上げ靴は支給になっているのですか。

**答** 編み上げ靴についても、今年度の支給を考えています。

**問** 長靴でも鉄が入っている安全靴がありますが、導入は可能ですか。

**答** 新装備基準により対応しており、長靴タイプのもは該当しません。

## 消防団の活動服 全員配備へ

約の締結について

**問** 更新入れ替えが続いているようですが、入れ替え予定を伺います。

**答** 合併前の市町村でそれぞれ導入していた車両等が、順次年数を迎えています。平均的になるよう割り振りを考えていますが、32年度までは同様の台数で推移します。

**問** 市では、性能が若干いいと聞いている競技用のポンプを保有していますか。また、今後の導入について検討はできないでしょうか。



消防団員に配備される活動服

◆村上市教育情報センター空調設備改修工事の工事請負契約の締結について

**問** 入札結果調書を見ると価格となっている業者があるようですが、詳細は。

**答** 本件は1億円を超える案件ですので最低制限価格ではなく、低入札調査の基準価格を定めました。今回は、全部の入札業者がこの金額を下回ったので、工事ができるかどうかの調査の対象となりました。さらに失格判断基準と

実施しているため、低入札調査基準価格を今後も継続していきます。

### 28年度 一般会計補正予算

【歳出】  
・総務費

**問** コミュニティ助成補助金7件の内訳をお願いします。

**答** 一般コミュニティ助成事業は、立島区、荒屋区、桃川区のエアコン等コミュニティ活動用品、福田区の太鼓ほかコミュニティ活動用品。コミュニティセンター助成事業は、松原町二丁目区と岩船縦新町区の集会施設の建設と大規模修繕。地域防災組織育成助成事業は、田島区の防災倉庫ほか防災用品です。

以上を中心に審査しました。

失格となりました。

**問** この失格判断基準金額も恐らく何円くらいの違いというものも出てくると思われる、分かりづらい入札方式だと思いますが、今後も継続するのですか。

**答** 20年から導入していて、業者の皆さんも十分納得して

# 市民厚生常任 委員会所管分

◎尾形 修平 ○渡辺 昌  
板垣 一徳 板垣千代子  
小林 重平 山田 勉  
竹内喜代嗣 長谷川 孝  
小杉 和也

◆村上市急患診療所運営委員会条例の一部を改正する条例制定について

問 現在9人からなる運営委員会に薬剤師会からの1人を加える条例改正ですが、他市も同様の委員会構成となっているのですか。

答 他市の状況に合わせているのではなく、本市独自のものです。以前の新型インフルエンザの騒動の際に、市内の薬剤師の方から協力をいただいたことから、薬剤師会の委員をぜひ加えてほしいとの医師会からの要望による改正です。

◆荒川郷ごみ処理場解体工事の工事請負契約の締結について

問 関川村との一部事務組合

の施設でしたが、解体費用への関川村からの負担はあるのですか。

答 関川村の負担もあります。近隣の住民の方に対して、解体工事実施の周知を行っていますか。

答 今年4月に近隣集落への周知を行っており、工事の開始前にあらためて業者を含めた形で周知を行う予定です。

問 解体によって出る廃棄物について、どこに運ばれるのか把握していますか。

答 本契約締結後に業者から施工計画案が提出されますので、その中で場所を確認し承認することになっています。

問 市の工事で以前にもあったように、工事の途中で工費が膨らむことはないですか。

答 設計と施工を一体として発注する「性能発注方式」による工事なので、通常は工事費の変更はないものと考えています。

問 解体後の跡地利用については考えられていますか。

答 現段階では考えていません。今後、何らかの利用ができないか検討していきます。

## 28年度一般会計補正予算 【歳出】

・民生費

問 介護職員人材確保推進事業経費で、初任者研修費用10人分の100万円が計上されていますが、その根拠は。

答 研修のさまざまな条件等により、費用は5万円から17万円とばらつきがあります。近隣の新発田市内での研修費用が9万円の例があり、県の補助もあるため、10万円の10人分を予定しましたが、その分人数が増えても対応できると考えています。

問 介護職員人材確保推進事業の補助金制度の創設は、市の考えによるものですか。

答 県の制度に上乗せするものではありませんが、介護職員不足に有効な方法であり、市内の介護事業所からも要望があったことから、市の考えで提出したものです。

問 学童保育所経費で、発達障害児童への支援員増員分の賃金について、国などからの

補助はないのですか。

答 子ども・子育て支援交付金により、国と県がそれぞれ3分の1の補助となっています。

問 発達障害は早期の発見と対応が重要ですが、保育園や学校の連携などの取り組みはされていますか。

答 乳幼児健診等で発達障害傾向があった子どもについて、保育園と学校で情報を共有しながら対応しています。

・衛生費

問 国内の自殺者が減少傾向にありますが、本市の昨年の自殺者は何人でしたか。

答 14人でした。

問 自殺の原因などについて把握はされていますか。

答 経済的な面や健康問題など、要因が重なっている場合が多くを占めています。

以上を中心に審査しました。

# 処理場解体 周知を十分に



解体撤去される荒川郷ごみ処理場(貝附)



# 経済建設常任 委員会所管分

◎川崎 健二 ○小田 信人  
川村 敏晴 本間 善和  
平山 耕 本間 清人  
姫路 敏 大滝 久志

## ◆市道路線の認定について

**問** 市道認定は、幅員4m以上、公道への接続のほか、袋小路は延長50m以上という条件がありますが、最近、袋小路でも市道認定となるケースが多いと思います。袋小路であっても生活道路に寄付していただけるのであれば、市道認定するような基準を明記すべきではないですか。

**答** 他市町村の状況も研究しましたが、認定要件は厳しい状況でした。現状の要件でほとんど市道になった段階で、基準を緩和することも考えています。

**問** 松喜和では、コンビニエンスストアの交差点からお幕場へ直進する道路設置の要望があると聞いていますが、どのようになっていますか。

**答** 神林岩船港インターから345号の交差点のコンビニエンスストアから松喜和に入る道路については、交差点の位置が悪いので概略設計をかねて、警察と協議中です。

◆小型除雪車(ロータリー・5m級)購入契約の締結について

**問** 契約金額1700万円に對する財源には、交付金や補助金がありますか。

**答** 過疎債を利用して購入予定です。

# 袋小路の市道認定はいかに

## 28年度 一般会計補正予算

### 【歳出】

#### ・農林水産業費

**問** 村上市森林組合では、基金を貯めて、5カ年計画で建て替えるとのことですが、測量設計等委託料49万7千円については、何を設計委託するのですか。

**答** 新しい事務所を建て替えるまでは、現状のものを使いますが、経年劣化で外壁の剝離が生じ、早急な安全対策

のため、測量設計を委託するものです。

#### ・商工費

**問** 観光施設管理費に簡易裁判所の土地購入費用が計上されていますが、その用途は。

**答** 駐車場および観光用公衆トイレの予定です。なお、今回の購入は、旧宿舍の部分だけで、簡易裁判所は現状のままです。

**問** 笹川流れ夕日会館の工事請負費128万円は、身障者用トイレドアの改修工事との話ですが、建物は駅舎と一緒

になっていますので、工事をJRと折半する協議はありませんか。

**答** 笹川流れ夕日会館の敷地はJRの土地で、市が借り上げていますが、反対に、駅業務室を含めた建物は旧山北町が整備し、JRに建物貸付をしています。また、トイレはホーム側からの利用はできませんので、折半する必要はありません。

**問** 村上市工業団地内に消費

パイプの削井工事が予定されていますが、消雪パイプの設置予定はいつごろですか。

**答** 坪根側の坂道が非常にスリップしやすく、冬までこの坂道だけでも設置したいと考えています。

**問** 3月の村上総合病院の移転新築に関する厚生連との覚書締結により、本格的に周辺整備事業に着手することと

ですが、1170万円の測量設計等委託料の詳細は。

**答** 平面、路線、現況測量、概略設計等があり、工期は今

年度末までであり、議決後速やかに発注する予定です。

## 28年度 特別会計補正予算

#### ・簡易水道事業特別会計

**問** 府屋地区の簡易水道水源地の送水ポンプ1台が故障しているということですが、今使っている予備のポンプはリースですか。

**答** リースではありません。朝日地区の浄水場で予備としてストックしていたものを仮設して対応しています。

以上を中心に審査しました。



村上総合病院移転新築に係る測量設計箇所  
(ただし、新病院用地は確定されていません)





## 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員の氏名	付託委員会	審議結果
小中学校の統廃合は性急にすすめないことを求める請願書	村上市子どもの教育を考える会 代表 内山 雄平	竹内喜代嗣	総務文教 常任委員会	不採択
30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長 鈴木 昭俊	本間 清人	総務文教 常任委員会	採 択

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

## 陳情の審査結果

件名	陳情者	所属委員会	審査結果
未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	任意団体 Kids Voting Japan 代表 寒川 友貴	総務文教 常任委員会	意見の一致を見なかった

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員が願意を了承しなければ、願意了承になりません。

## 意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

以上の意見書が、第2回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

### 副市長が決まりました



ちゅう ぞう 氏  
(新任)

任期満了により、  
議会で同意されました。  
※9月1日就任

### 人権擁護委員が決まりました



なかくら きよし 氏  
(村上地区・再任)



すがい かつひこ 氏  
(朝日地区・再任)

次の方が推薦され、  
議会で同意されました。  
※10月1日就任

## 選挙管理委員会委員と同補充員が決まりました

5月26日開催の第2回臨時会で、次の方が議会で同意されました。

### 【選挙管理委員会委員】



さいとう まこと 氏  
(山北地区・新任)



たけだ ひでお 氏  
(神林地区・再任)



さいとう ひろし 氏  
(村上地区・再任)



よこやま のりこ 氏  
(朝日地区・新任)

### 【選挙管理委員会委員補充員】

いそべ こうじ 氏 (荒川地区)

ほんま きよし 氏 (山北地区)

あべ としろう 氏 (神林地区)

なかむら すみこ 氏 (村上地区)

## 全国市議会議長会・北信越市議会議長会 永年勤続議員表彰受賞



(左から) 本間清人議員 川村敏晴議員 竹内喜代嗣議員  
板垣一徳議員 富樫宇栄一前議員

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、5人の議員が永年勤続議員表彰（板垣一徳議員は議長表彰）を受賞しました。

今回、受賞された板垣一徳議員は昭和59年3月に旧山北町議会議員に初当選以来、議長に15年在職しました。また、本間清人議員は平成18年4月に旧村上市議会議員に初当選、川村敏晴議員は平成15年11月に旧荒川町議会議員に初当選、竹内喜代嗣議員は平成7年12月に旧神林村議会議員に初当選し、また、前村上市議会議員の富樫宇栄一氏が平成15年11月に旧荒川町議会議員に初当選して以来、議会議員として地域の発展に取り組んできました。

本市の発展のため、今後ますますの活躍が期待されます。

## 監査委員が 決まりました

任期満了に伴う4月の市議会議員一般選挙により、議会選出の監査委員として、5月26日開催の第2回臨時会において同意されました。



小杉 和也 議員  
(新任)

## 森林・林業・山村対策の抜本的強化のための新たな財源を ～全国森林環境税創設促進議員連盟第23回定期総会～

当市議会が事務局等を務める「全国森林環境税創設促進議員連盟」の第23回定期総会が、7月21日、全国の市町村で一番広い面積を有し、そのうち92.1%が森林という、長い年月にわたり、森林と一体となって、豊かな心と文化を育みながら歴史を重ねてきた岐阜県高山市で開催されました。

当連盟は、平成6年10月に結成され、全国334市町村議会（平成28年7月21日現在）が加入し、森林の持つ公益的機能と役割を広く国民に訴えるとともに、森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかるため、新たな税財源である「全国森林環境税」の導入に向け、さまざまな活動を展開しています。

総会当日は、全国の会員市町村議会、来賓等、合わせて約300人出席をいただき、平成27年度事業・収支決算報告、平成28年度事業計画・収支予算案等全ての議案が承認・可決され、新たな役員体制では、当市議会の板垣一徳議員が会長に選任されました。

議事後は、地元高山市のNPO法人活（かつ）エネルギーアカデミー理事長の山崎昌彦氏から「森の恵すべてがつながるエネルギー」と題し、倒木や間伐材等が山の中で取り残されて山が荒れることを防ぎ、地域通貨と木質バイオマスの活用で地域活性化を図る事業などについて、講演をいただきました。

この総会を受け、今年度、当連盟では、『平成28年度税制改正大綱』において「市町村による継続的かつ安定的な森林整備等の財源に充てる税制（森林環境税（仮称））等の新たな仕組みを検討する。その時期については、適切に判断する」との方針が示されたことを踏まえ、「全国森林環境税」の導入に向け、早期に具体的な制度設計を行うよう、関係機関に強力に要請を行うこととして事業を展開します。





# 平成27年度 政務活動費の交付実績

## 1 会派の政務活動費(所属する議員1人当たり60,000円)(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
鷲ヶ巣会	445,000	445,000	415,846	415,846	29,154
市民クラブ	240,000	240,000	296,714	240,000	0
清流会	240,000	240,000	35,672	35,672	204,328
日本共産党	—	—	—	—	—
市政クラブ	120,000	120,000	170,526	120,000	0
高志会	120,000	120,000	132,400	120,000	0
凜政の風村上未来	120,000	120,000	100,763	100,763	19,237
合計	1,285,000	1,285,000	1,151,921	1,032,281	252,719

## 2 特例により会派に所属しない議員に交付する会派の政務活動費(1人当たり60,000円)(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
板垣千代子	40,000	40,000	19,968	19,968	20,032
姫路 敏	60,000	60,000	0	0	60,000
合計	100,000	100,000	19,968	19,968	80,032

## 3 議員の政務活動費(議員1人当たり60,000円)(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
渡辺 昌	60,000	60,000	77,476	60,000	0
尾形 修平	60,000	60,000	222,500	60,000	0
板垣 千代子	60,000	60,000	59,814	59,814	186
鈴木 いせ子	60,000	60,000	60,700	60,000	0
本間 清人	60,000	60,000	36,900	36,900	23,100
川村 敏晴	60,000	60,000	251,723	60,000	0
富樫 宇栄一	60,000	60,000	74,599	60,000	0
小杉 和也	60,000	60,000	62,767	60,000	0
齋藤 信一郎	60,000	60,000	49,779	49,779	10,221
竹内 喜代嗣	60,000	60,000	207,829	60,000	0
平山 耕	60,000	60,000	77,946	60,000	0
川崎 健二	60,000	60,000	33,600	33,600	26,400
木村 貞雄	60,000	60,000	25,076	25,076	34,924
小池 晃	60,000	60,000	87,881	60,000	0
姫路 敏	60,000	60,000	195,427	60,000	0
長谷川 孝	60,000	60,000	73,180	60,000	0
滝沢 武司	60,000	60,000	255,473	60,000	0
小林 重平	—	—	—	—	—
佐藤 重陽	60,000	60,000	74,916	60,000	0
相馬 エイ	60,000	60,000	51,472	51,472	8,528
大滝 国吉	60,000	60,000	69,396	60,000	0
大滝 久志	60,000	60,000	60,952	60,000	0
山田 勉	60,000	60,000	69,585	60,000	0
片野 鉄雄	60,000	60,000	150,900	60,000	0
板垣 一徳	60,000	60,000	11,804	11,804	48,196
三田 敏秋	60,000	60,000	43,632	43,632	16,368
合計	1,500,000	1,500,000	2,385,327	1,332,077	167,923

申請額の欄の「—」表記は、政務活動費の交付申請を行わなかった会派および議員です。

なお、各会派および議員の収支報告書は、村上市議会のホームページでご覧いただくことができます。

# インタビュー

広報特別委員会委員が  
おじゃましました！

## 大好きな“鮭のまち”これからも

伴田麻衣さん (岩船上町)



私の実家では、天保年間から受け継がれた鮭を中心とした海産物の製造販売を行っています。

高校卒業後、小さいころからの憧れだった東京の服飾専門学校に進学し、卒業後は専門知識を活かす会社に就職しました。好きなことを仕事にしていたのですが、当時は早く安く作るのが良しとされていて、それでは感動する暇がなく、それよりも作り手が想いを込めて大切に力を注いでいるものに魅力を感じるようになってきました。

家族から一緒に仕事をしようと声を掛けられたこともあり、自分の大切にしたいものは、自分の原点である家族やお店だと気づき、村上に戻ること決めました。

村上に戻ってからは、自分たちの製品を長年気

に入ってくださっている方が大勢いることや、「人からもらって美味しかったから」と注文してもらえることがとても多く、原料にこだわり、大切に作っていることが伝わっていると感じると共に、仕事を通じて地域の魅力を伝えられるこの仕事にやりがいを感じています。

しばらく村상을離れていた私ですが、村上商工会議所青年部に入ったことで多くの方と知り合うことができ、今まで気付かなかった村上の魅力にも気付くことができました。

仕事や地域活動を通じて出会えた方々とのつながりを大切にしながら、誇りに思う家業をこれからも続けていきたいと思えます。

### 議会の一コマ



広報特別委員会の議員が村上高校へ出向き、今号特集記事のインタビューをしている様子です。生徒の皆さんの、緊張した中にも時折見せる笑顔が印象的でした。

#### お詫びと訂正

※市議会だより第41号臨時号3ページの広報特別委員会の正副委員長の表記に誤りがありました。

訂正してお詫びいたします。(◎は委員長、○は副委員長)

(誤) ○小田信人 ◎渡辺 昌 小杉武仁

(正) 小田信人 ◎渡辺 昌 ○小杉武仁

### 平成28年 第3回定例会のお知らせ(予定)

8/23日	火	請願・陳情の提出期限 (正午まで)
9/6日	火	定例会初日(本会議)
8,9,12,13日	木・金 月・火	一般質問(本会議)
14日	水	総務文教常任委員会
15日	木	市民厚生常任委員会
16日	金	経済建設常任委員会
20,21,23,27日	火・水 金・火	一般会計予算・決算審査特別 委員会
30日	金	定例会最終日(本会議)

\*この日程は変更されることがあります。

\*開会時間は午前10時です。